



尾鷲市は三重県南部に位置し、世界遺産・熊野古道伊勢路の山歩き、透明度が高い尾鷲湾では多様なエビやブリなどの海産物を楽しむことができる、山も海も美しい豊かな自然を有するまちです

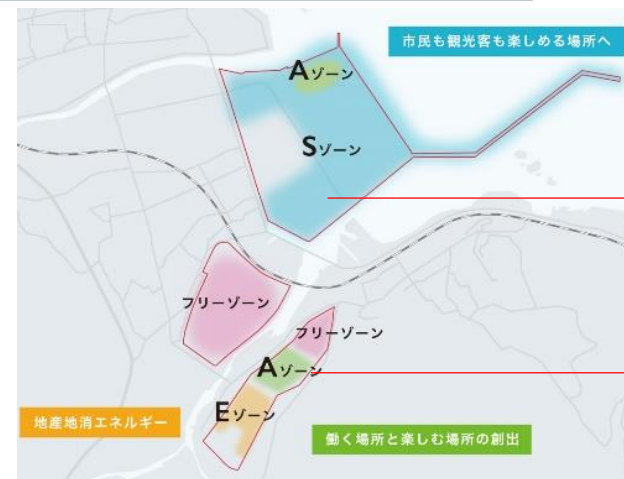


事業背景

- 中部電力尾鷲三田火力発電所廃止等 → 大幅な税収減（約1億円）、雇用・仕事の場の喪失（平成30年12月）
- 中部電力尾鷲三田火力発電所廃止による跡地（以下、中電跡地）の発生
- 人口減少、少子高齢化の進展 → 消滅可能性都市（2020年国調人口：16,252人 → 社人研推計2060年：4,302人）
- 三重県南部（東紀州地域）5市町による広域ごみ処理施設整備の推進

現状の課題

広大な中電跡地の有効活用による尾鷲市の再活性化（63万4千㎡：東京ドーム13.5個分）



事業の目的

三重県南部（東紀州地域）のスポーツによる広域連携
→ 集客交流人口の増加
『親子3世代が集う憩いの場の創出』

これまでの取組

平成30年 「おわせS E Aモデル協議会」設立
令和2年12月「尾鷲市地方創生拠点整備等基金の設置、管理及び処分に関する条例」制定
令和4年3月1日「尾鷲市ゼロカーボンシティ宣言」
令和4年度～国の社会資本整備総合交付金申請



【おわせSEAモデル協議会とは】

尾鷲市、尾鷲商工会議所および中部電力が、中部電力尾鷲三田火力発電所の跡地を「新たなエネルギー」と「豊かな自然の力」で、産業、観光、市民サービスを融合した拠点として、人々が集い活気あふれる「ふるさと尾鷲」を目指していきます。

メンバー



オブザーバー



SERVICE

集客交流人口の拡大

サービス・コンテンツの充実で
親子3世代が楽しめる場所へ。



ENERGY

新たなエネルギーの活用

再生可能エネルギーを活用した
新たなエネルギー発生基地へ。



AQUA/AGRICULTURE

働く場所・雇用の創出

尾鷲の恵みと新たなエネルギーの有効活用で
新ビジネスの創出へ。

事業
内容

得られる
成果等

お願いと
メリット

国の社会資本整備総合交付金を活用した**都市公園（国市浜公園）整備**
（公式野球場・多目的芝生スポーツ広場・キッズパークなど）

スポーツ振興を通じた**集客交流人口の増加**とそれに伴う**尾鷲・東紀州地域の地場産業振興**



企業の皆さまへのお願い

- 1： **企業版ふるさと納税による財政的支援**
- 2： **「おわせSEAモデル事業」への参画**

企業の皆さまのメリット

- 社会的課題解決への賛助によるPR効果
- 火力発電所からの転換による**脱炭素社会・地域循環共生圏づくり**への社会的貢献

—お問い合わせ先—

尾鷲市 政策調整課
（おわせSEAモデル協議会事務局）

TEL：0597-23-8134
sechosei@city.owase.lg.jp



<https://www.owase-seamodel.jp/>